

## 県政戦略会議の概要

- 1 開催日時：平成18年7月28日（金）9：00～10：45
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、出納長、各部局長等
- 4 欠席者：松林廃棄物政策担当理事、大庭警察本部長
- 5 議事概要：以下のとおり  
（ 議題提出部局説明・回答、 意見・質問）

議題1：みえの舞台づくり提案・実践事業（三重県版特区）について（政策部）  
資料1に基づき説明

2、3の提案は、基本的には業務委託の提案で、一般的には公募入札することになると思うが、一定の企業に随契するのか。

実際に委託する場合は、競争入札が基本になる。

本来めざしている三重県版特区のイメージと違ってきている。第3回募集に向けてどういった趣旨でやるのか、戦略会議で改めて整理すべき。

そのようにさせていただく。

1の提案は、すでに施設が建設されていて、以前に一度整理しているが、本事業の対象になるのか。

本事業は、自ら実施しようとするものを対象としており、入口では限定的に解釈するのではなく、この事業の対象として、運用基準の取扱いについて整理したいと考えている。

社会福祉法人としてはよいのか。

社会福祉法人そのものの事業ではなく、附帯事業としてならよい。

6の提案は、すでに学校開放、駐車場開放など、施設の有効利用としてやっている。

県との協働でシンポジウム等を開催する際に、NPOの負担する経費を捻出するために募金を行おうとするもの。

県と協働実施しているのだから、会場費は県が負担すればよいのではないか。

災害時の難病患者支援として健康福祉部とNPOが協働で実施している。県が委託しているが、NPOの持ち分を募金で賄おうとするものであり、単に会場費ではなく事業費全体に関わってくる。

総括すると、入口議論としてはこの整理で了解する。

## 議題2：次期戦略計画について（政策部）

### 資料2に基づき説明

資料2 - 3のアウトプットイメージの左頁には多様な主体で取り組む内容、右頁には県が主体的に取り組む内容を記載することについてどうか。また、左頁下には、多様な主体に期待することを記載することについてどうか。

資料2 - 3の参考資料にあるとおり、他都道府県でも、項目や記載方法について違いがあるが、多様な主体の役割分担を記載している。

方向性としては良い。発信の仕方を検討してほしい。

素案以降、市町や百人委員会などに意見を求めていきたい。

アウトプットイメージの内容の書き分け、多様な主体に期待することの記載について、了解を得た。

以上